



平成 19 年 9 月 12 日

「物流人材発掘事業」学外講座について  
～大分大学学生がアジアゲートウェイである福岡の物流施設を見学～

2002年に始まった経済回復は、低成長下ではあるが「いざなぎ景気」を超える長期的なものとなっており、大企業を中心として設備投資や新規卒業者の雇用に意欲的です。

一方、経済活動の根幹部分を支えてきた団塊の世代が定年を迎え、専門的知識や技能を有する人材が一斉に企業を退職することにより企業固有の技術が喪失するのみならず、企業活動自体が停滞する恐れがあるとされる、いわゆる「2007年問題」が発生しています。

このような社会情勢は、いわゆる3K職場として認識されがちで、人材確保がもともと難しいとされる物流業界において人手不足が一層顕著に現れることが懸念されています。

このような現象とは逆に、国際水平分業の進展に伴う国際物流の増加、京都議定書発効や改正省エネ法に対応するため、環境にやさしい効率的な物流の実現など「物流の高度化」に対応する人材が物流業界に求められています。

そこで、九州運輸局では、国立大学法人大分大学と連携して「物流人材発掘事業」学外講座として、福岡市周辺の物流施設を実際に見学して、大学生に「物流」を正しく理解してもらい、物流業界が優秀な人材を確保できるよう努めていきたいと考えています。

学外講座は 平成19年9月19日(水)

見学コースとしては

- 第1 国土交通省の物流施策 (国土交通省九州運輸局)
- 第2 国際航空貨物 (福岡空港：福岡エアカーゴターミナル)
- 第3 国際外貿コンテナターミナル (香椎コンテナターミナル：博多港ふ頭)
- 第4 博多港国際ターミナル (中央ふ頭：カメラライン)
- 第5 鉄道貨物 (福岡コンテナターミナル駅：日本貨物鉄道(株)九州支社)

という構成となっており、事前にお申し出いただければ取材ができます。

<問い合わせ先>

九州運輸局 交通環境部 物流課 川原・山田

TEL:092-472-3154 FAX:092-472-2316